

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会記録		
1 会議の日時	令和 6 年 1 2 月 1 8 日 開 会 午前 9 時 5 5 分 閉 会 午前 1 0 時 5 4 分	
2 会議の場所	第 6 委員会室	
3 出席者	委 員	委員長 猫 田 孝 委 員 森 正 弘 藤 本 恵 司 黒 田 芳 弘 副委員長 小 原 尚 澄 川 寿 之 森 治 久 平 野 恭 子 森 益 基
	執 行 部	別 紙 配 席 図 の と お り
4 事務局職員	主査 横田 直道 主事 水谷 玲葉	

5 会議に付した案件

件

名

審 査 の 結 果

- 1 県土強靱化・インフラ整備対策に関する調査について
 - (1) 第3期岐阜県強靱化計画の素案について
 - (2) デジタル等新技術を活用した防災対策の推進について
- 2 その他
 - (1) 令和6年8月台風第10号災害検証結果について

6 議 事 録（要点筆記）

○猫田孝委員長

ただいまから、県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、重点調査項目に基づき、次第に記載の議題について、ご協議いただくため開催したものである。

最初に、第3期岐阜県強靱化計画の素案について、執行部の説明を求める。

（執行部説明）

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

○黒田芳弘委員

本巣市には防災士の資格を取得する中学生もいるが、災害時にどのような役割を担うのか。

○永井防災課長

中学生の防災士の役割として特に決まったものはないが、例えば、平時に各家庭を回って家具の固定等について声掛けを行うことや、防災訓練で中心的な役割を果たすことのほか、災害時には避難所の運営を支援するといったことが挙げられる。

○黒田芳弘委員

避難所運営で知識を活かして活動いただくことはとても良いと思うが、災害時に「防災士」をどう関わらせていくか検討しておいてほしい。

○澄川寿之委員

トイレカーやキッチンカーについて、県と市町村での配備に係る分担をどのように考えているか。

○永井防災課長

県内では、県のトイレトラックが明後日納車されるほか恵那市も所有している。大規模災害時には不足することが想定されるため、全国から応援を受ながら対応していくほか、来年度、国において登録制度が導入される予定であり、これを活用していくことを考えている。

○澄川寿之委員

トイレカーなどを予算をかけて配備した市町村とそうでない市町村で支援の差が生じることは問題だと思うので、国の登録制度を活用するなどしていただきたい。

○永井防災課長

県が導入するトイレトラックには、災害時に相互に応援する仕組み・ネットワークがある。ここには、当県以外に全国で23の自治体が入っており、これを活用していく。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

次に、デジタル等新技术を活用した防災対策の推進について、執行部の説明を求める。

（執行部説明）

○猫田孝委員長

ただいまの説明に対し質問はあるか。

（発言する者なし）

○猫田孝委員長

質問がないようなので、この議題は終了する。

次に、令和6年8月台風第10号災害検証結果について、執行部の報告を求める。

(執行部説明)

○猫田孝委員長

ただいまの報告に対し質問はあるか。

○猫田孝委員長

杭瀬川での「貯留施設の検討」とはどういうことか。

○真鍋河川課長

水門川にある加納川洪水調節池のように、浸水が発生する地域の上流部に、洪水を溜められる施設を整備することを新たに検討する。

○猫田孝委員長

今回の台風第10号の被害を受け、新たに「杭瀬川上流河川改修促進期成同盟会」を立ち上げた。残る未改修区間は今後10年を目安にできるだけ早く整備を進めてもらいたい。

今回被害のあった水門川で進めている放水路事業はどのような状況か。

○真鍋河川課長

現在、設計等を進めているところである。放水路の流入部については用地買収が完了したが、流出部については今回の被害も踏まえ、放水先である杭瀬川に影響を与えない範囲で水を流す検討を進めている。できる限り早期に完成できるよう、地元丁寧に説明し、ご理解いただけるように進めていく。

○猫田孝委員長

質問も尽きたようなので、この議題は終了する。

以上で、本日の議題は終了したが、この際、何か意見はあるか。

(発言する者なし)

○猫田孝委員長

意見がないようなので、本日の委員会を閉会する。

県土強靱化・インフラ整備対策特別委員会 配席図

令和6年12月18日

第6委員会室

